

お母さん、お父さんへ

親子鑑賞会へようこそ。

子どもたちと美術館へ来られたのは、今回で何回目ですか？

初めての方も、リピーターの方も、子どもたちとの美術鑑賞を難しい...と感じている人はいませんか？

そこで、鑑賞時にお役に立つかもしれないことを、数点まとめてみました。

しかし、こればかりに頼る必要はありません。

皆さんが一番楽しめる方法で、良い思い出を作ってください。

子供がみたい絵を一緒に見ましょう

子どもが惹きつけられた絵を一緒にみてください。
お母さん、お父さんが見たい作品は少し我慢しましょう。また、子どもたちが鑑賞するにおいて、順序はさほど重要ではありませんので、ご自由に移動してください。

壁に書かれた情報は見ても

見なくても良い

タイトルを見ると、その先入観が鑑賞を邪魔すると言われてます。しかし、タイトルを見ることで作品に入りやすくなる人もいます。書かれている情報に頼りすぎず、でもたまにヒントにしながら、上手に活用しましょう。

無理やり感想を求めない

作品を見た子どもたちが無反応でも大丈夫です。
受け止め方は様々ですし、全ての作品に感動するとは限りません。反応を求めすぎないよう、子どもたちのペースを大切にしましょう。

たくさん会話をしましょう

感じたことを言語化できないことは普通のことです。
親子の自然な会話の中で、子どもが作品に持った印象を拾い、会話に広がりを持たせてあげましょう。

子どもたちを積極的に観察してください

美術館という普段足を踏み入れない空間で、子どもたちがいつもとどう違うか、美術館を出たあと何か変わったか、すぐに変化はわからなくても観察できるチャンスがたくさんあります。この機会にたくさん観察してください。

なんとなく簡単に思えてきませんか？

私たち、美術館職員はサポート役として館内にいます。

何かこまったことがあれば、一緒に工夫して考えてみましょう！

本日はよろしくお祈いします！